

令和2年度
まちづくり活動
アシスト事業報告夢をもつて生きていくことが出来る
未来と今だから出来る貴重な体験パソきつず
代表 小野 志保

専門家による定例講座

地域の宝である子どもたちを地域で守り育てること。

危機や困難に直面したときに乗り越える強い心と生き抜く力。

夢をもつて生きていくことが出来る未来と今だから出来る貴重な体験。

約20年前の悲しい事件をきっかけに情報社会での子どもたちの被害を未然に防ぐために発足したのが「パソきつず」です。パソコンだけではなく、たくさんのお会いのご縁があり、「本物を知ってほしい」との考えで、ご指導くださる専門家の先生方による講座を毎月開催しています。

体験が出来る機会。挑戦すること。興味や関心。触れること。感じる。自信と自己肯定感の醸成。試行錯誤しながら駆け抜けてきました。

発足当時は、友人知人のお子さんからスタートしたパソきつずですが、口コミや紹介により会員数は増加し、地域主導型公民館事業の一環として、パソきつずの活動は公民館事業のひとつになりました。

体験の数だけ思い出がいっぱい

フラワーアレンジメントの先生によるク

リスマスツリー、イラストレーター先生によるエコバック作り、プロダンサーによるダンス講座、韓国栄養士による韓国料理教室、アロマセラピストによるハーブ石鹸づくり、農学博士による椎茸栽培と収穫、防災士による防災キャンプ、ラガーマンによるタグラグビー講座、ほかに多肉植物寄せ植え、生け花、クリスマスケーキやバレンタインチョコ作りなど。たまには外に飛び出し、防災センターでの災害疑似体験、鉱山観光に砂金取り、そうめん流し大会や工場見学、警察署見学、いちご狩り、カヌー体験や星空観察などのキャンプ、子どもが店長こどもショップ。体験の数だけ思い出があります。

幼稚園児の頃に参加していた子どもたちも、はや社会人や大学生に。

今でもパソきつずの話をするそう。記録と記憶。たくさん写真とたくさん思い出がいっぱいです。

居場所のひとつに

今回、ついに念願だった新居浜市全域の子どもたちを対象に募集を致しました。

新型コロナウイルス感染



元気いっぱい!タグラグビー体験



家族で体験!新居浜市防災センター災害疑似体験



心を込めて。バレンタインチョコ作り

症の関係で、運動会の延期による日程重複、感染対策として人数制限と時間差、貸切りでの開催。また、月1回の専門家の先生方による体験講座のほかに、きつず防災フェスも企画してりましたが、やむなく防災講座に変更するなど、大変なことも多かったです。子どもたちを褒めること、子どもたちの話をいっぱい聞くこと。

子どもたちの頑張ったところを保護者にお伝えし、保護者の方々からも子育てのお悩みやご相談をお受けすることは、変わらずに。

子どもたちからも「楽しい!来年もあるの?」保護者の方々からの「是非、来年も!」「早速、来年の予約を!」等お声を多数いただいております。本当にありがとうございます。

笑顔で将来の夢を語れるまちづくり。今だから出来る貴重な体験を子どもたちに。パソきつずの軌跡は奇跡を起こします。